

# 狂言の所作も体験

入間市立藤沢小学校(後藤博校長、児童数477人)で狂言公演が行われ、大感流狂言師の山本泰太郎さん(同市在住)、則孝さん(狭山市在住)兄弟が熱演した。児童は間近で古典芸能に触れ、その奥深さを味わった。

入間市立藤沢小学校(後藤博校長、児童数477人)で狂言公演が行われ、大感流狂言師の山本泰太郎さん(同市在住)、則孝さん(狭山市在住)兄弟が熱演した。児童は間近で古典芸能に触れ、その奥深さを味わった。



狂言「柿山伏」を公演する狂言師の山本泰太郎さん(左)、則孝さん兄弟。入間市の市立藤沢小学校

入間市の文化施設アミーゴを運営するNPO入間市文化創造ネットワークが主催する文化芸術プログラム。伝統芸能に触れる機会を提供しようと2007年度に始まり、今回の公演で市内全16の小学校で開催された。

藤沢小学校では、6年生約90人が鑑賞した。体育館のステージを能楽堂に見立て、人間国宝四世山本東次郎氏を伯父に持つ泰太郎さんと則孝さんが、8年生の国語の教科書で扱われている狂言「柿山伏」を演じた。

立派に実った柿を見つけた山伏が無断で盗み食いし、持ち主に気づかれてしまつストーリー。難解な昔言葉のせりふだが、児童は役者の仕草や声色で滑稽な場面を感じ取り、笑いながら鑑賞していた。

公演後には児童15人がステージ上で歩き方、走り方など狂言の基本的な所作を体験。男子児童は、「初めて知る」とばかりで楽しかった」と話していた。

市産業文化センターで6月25日午後2時から、山本泰太郎さん、則孝さんらが出演する「いるま狂言会〜人間国宝山本東次郎の至芸」(同NPO、市振興公社共催)が開かれる。入場料は前売3千円、当日3500円(税込み、全席指定)。

問い合わせはアミーゴ(☎04・2931・3500)へ。(関根義浩)